

令和8年度

# 富山県立大学大学院 看護学研究科(博士前期課程)

## 学生募集要項

1 一般選抜

2 社会人特別選抜

3 学内推薦選抜

富山県立大学大学院看護学研究科入学試験実施本部



〒930-0975

富山県富山市西長江2-2-78

TEL 076-464-5410 (代表)

ホームページアドレス <https://www.pu-toyama.ac.jp/>

メールアドレス [admission@pu-toyama.ac.jp](mailto:admission@pu-toyama.ac.jp)



## 富山県立大学大学院看護学研究科（博士前期課程）

### 教育理念（育成する人材像）

看護職者としての倫理観と広い視野を持ち、高度な看護実践能力を備え、看護の課題を科学的に探究し、地域や社会の発展に寄与できる人材を育成します。

また、これらを通して、将来の看護学研究者の基盤となる能力を持つ人材を育成します。

### 教育目標

富山県立大学大学院看護学研究科博士前期課程の教育目標として次の5つを掲げます。

1. 看護職者としての倫理観と広い視野を持ち、高度な看護実践能力により、個人・家族・人々の健康な生活と QOL の向上に貢献できる人材を育成する。
2. 多職種・多機関との連携・協働においてリーダーシップを発揮できる人材を育成する。
3. 国際的な保健医療に関心を持ち、併せて地域や社会の保健医療福祉の課題解決に向けて主体的に取り組める人材を育成する。
4. 問題意識をもって看護現象を分析し、論理的・科学的に探究できる能力を持った人材を育成する。
5. 看護職者として生涯にわたって自己研鑽し続ける専門職としての高い意識を持った人材を育成する。

### 入学者受入方針 [アドミッション・ポリシー]

富山県立大学大学院看護学研究科博士前期課程では、高度な実践能力を有し、看護職としての倫理観と広い視野を持ち、看護の課題を科学的に探究し地域や社会の発展に寄与できる人材の育成を目指すとともに、こうした人材の育成を通して、将来の看護学研究者となる基盤となる能力の育成を目指すこととしています。このため、本研究科の入学者には、看護師資格又は看護師国家試験受験資格を有する次の素養をもった人を求めます。

1. 看護学の基礎知識と総合的な学力を有する人
2. 豊かな人間性と高い探究心を持ち、自主的・意欲的に学び、看護学の向上に寄与したい人
3. 倫理観及び、地域社会や国際社会に貢献する意思と責任感を有する人

#### <入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、一般選抜、社会人特別選抜、学内推薦選抜を実施し、筆記試験と面接を組み合わせた試験を行い、出願書類の内容等を総合して選抜します。

# 目次

|    |                  |       |
|----|------------------|-------|
| 1  | 募集人員             | 1     |
| 2  | 出願資格             | 1     |
| 3  | 出願手続             | 2～10  |
| 4  | 選抜方法・配点及び選抜試験期日程 | 10    |
| 5  | 選抜試験会場           | 11    |
| 6  | 合格者発表            | 11    |
| 7  | 入学手続             | 11～12 |
| 8  | 入学金・授業料等         | 12    |
| 9  | 注意事項             | 12    |
| 10 | その他              | 12～13 |

## 〈大学院看護学研究科（博士前期課程）案内〉

|     |               |       |
|-----|---------------|-------|
| I   | 看護学研究科の概要等    | 15    |
| II  | 社会人に対する配慮     | 16    |
| III | 修了の要件         | 16    |
| IV  | 教育課程表         | 17    |
| V   | 指導教員・研究指導内容一覧 | 18～21 |

\*令和6年度（2024年度）入学者選抜から、インターネットによる出願登録及び出願書類の郵送が必要となりました。詳細については、6頁～9頁の「インターネット出願の流れ」をご覧ください。

なお、冊子の学生募集要項は配布していません。本学ホームページからダウンロード・印刷してください。

# 令和8年度富山県立大学大学院看護学研究科(博士前期課程)学生募集要項

## 1 募集人員

| 専攻                            | 募集人員 | 選抜区分 |         |                       |
|-------------------------------|------|------|---------|-----------------------|
| 看護学専攻<br>(研究コース/<br>専門看護師コース) | 10名  | 一般選抜 | 社会人特別選抜 | 学内推薦選抜<br>(本学看護学部生のみ) |

## 2 出願資格

### 【一般選抜】

看護師資格又は看護師国家試験受験資格を有する者(令和8年3月までに取得見込みの者を含む。)で、次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(4)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (9) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和8年3月31日までに授与される見込みの者
- (10) 令和8年3月31日で大学に3年以上在学する者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
- (11) その他に、大学を卒業した者と同等以上の学力があると、本研究科において認めた者で、令和8年4月1日までに22歳に達する者
  - ※ 出願資格(5)により出願を希望する者は、出願締切日1か月前までに出願手続先へ問い合わせること。
  - ※ 出願資格(8)、(10)又は(11)により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行う。
  - ※ 専門看護師(CNS)コースは、老年看護分野で5年以上の臨床経験をもっている看護師を対象とする。

### 【社会人特別選抜】

上記一般選抜の出願資格を持ち、医療機関等や官公庁に在職し、機関の長から推薦された入学時3年以上の実務経験がある者

### 【学内推薦選抜】

次の全てに該当し、事前の書類選考で成績優秀と認められた者

- (1) 大学を令和8年3月に卒業見込みの本学看護学部生
- (2) 学業成績及び人物ともに優れた者

### 3 出願手続

#### (1) 出願手続方法

出願はインターネット出願のみとする。

入学志願者は、インターネット出願サイトで出願情報の登録及び入学考査料の支払いを行った後、必要な出願書類等を取りまとめて封筒貼付用宛名シートを貼付した市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に入れ、出願期間内に本学に必着となるように『書留速達郵便』で郵送すること。

なお、出願書類等の到着(配達)の有無についての問い合わせには応じない。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、入学志願者本人が確認すること。

インターネット出願の詳細については、6～9頁「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続きを行うこと。

#### (2) 事前相談

**入学志願者は、出願前に志望する分野の指導教員と教育・研究等に関する方向性について、必ず相談すること。**  
(募集要項18～21頁参照)

#### (3) 出願期間

|              |                                      |
|--------------|--------------------------------------|
| 一般選抜/社会人特別選抜 | 令和7年8月25日(月)～8月29日(金)<br>(期間内必着とする。) |
| 学内推薦選抜       | 令和7年6月9日(月)～6月13日(金)<br>(期間内必着とする。)  |

インターネット出願サイトでの出願情報の登録及び入学考査料の支払いは、令和7年8月18日(月)午前9時から(学内推薦選抜の場合は令和7年6月2日(月)9時から)可能。

郵便事情を考慮して余裕をもって郵送すること。

出願期間後に到着したものは、受理しないので注意すること。

ただし、令和7年8月28日(木)(学内推薦選抜の場合は令和7年6月12日(木))以前の発信局(日本国内)消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

#### (4) 出願資格の審査

出願資格(8)、(10)又は(11)により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行うので、次の必要書類を、**令和7年7月16日(水)**までに提出すること。提出された書類の返還は行わない。

なお、資格審査の結果は申請者あてに通知する。

所定の様式は本学Webサイトからダウンロードすること。

| 提出書類等       | 摘要  |
|-------------|---|
| ① 出願資格認定申請書 | (所定の様式)   |
| ② 推薦状       | 在籍する大学、出身又は(在籍する大学院、若しくは医療機関等や官公庁の所属長が作成したもの(所定の様式))  |
| ③ 成績証明書     | ア 出願資格(8)該当者<br>出身大学及び出身又は(在籍する大学院が発行し、厳封したもの(学部及び大学院の成績証明書)<br>修得科目名及び単位数が記載されたもの<br>イ 出願資格(10)該当者<br>在籍する大学が発行し、厳封したもの<br>修得科目名及び単位数が記載されたもの<br>ウ 出願資格(11)該当者<br>看護師国家試験受験資格を取得した又は取得見込みの学校等の学長又は学部長等が発行し、厳封したもの<br>※編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学前の成績証明書も併せて提出すること。<br>※記録保存期間が過ぎている場合又は廃校等の理由で発行されない場合は、卒業した学校を運営していた地方公共団体や法人等に記録不存である旨の証明書(様式自由)の発行を依頼し、成績証明書の代わりに提出すること。 |
| ④ 在学証明書     | 出願資格(8)(在学中の者)又は(10)該当者   |

|          |   |
|----------|---|
| ⑤ 教育課程表  | ア 出願資格(8) (在学中の者) 該当者<br>出身学科及び在籍する専攻科の開講科目の講義内容等が詳細に記載されたもの<br>イ 出願資格(10) 該当者<br>在籍する学科等の開講科目の講義内容等が詳細に記載されたもの |
| ⑥ 業績調書   | 出願資格(8) (在学中の者) 又は(11) 該当者<br>必要事項を記入し、証明する書類(写)を添付すること(所定の様式)。   |
| ⑦ 資格免許証等 | 出願資格(8) (在学中でない者) 又は(11) 該当者<br>出願を希望する専攻に関連する各種免許証等、参考となると思われる書類(写)等(簡単な説明等を付すこと。)                             |

※ 日本語・英語以外の言語で記載されたものについては、日本語訳もしくは英訳を添付すること。

※ 証明書の氏名が出願時と異なる場合(例:旧姓)は、戸籍抄本を審査書類とあわせて提出すること。

(5) 出願手続先

富山県立大学富山キャンパス  
事務部教務学生課入試・学生募集グループ  
〒930-0975  
富山県富山市西長江2-2-78  
TEL 076-464-5410 (代表)

(6) 出願書類等(提出された書類の返還は行わない。)

所定の様式は本学 Web サイトからダウンロードすること。

| 出 願 書 類 等                      | 摘 要   |
|--------------------------------|---|
| ① 入 学 志 願 票                    | 出願情報の登録及び入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、 <b>A4サイズで印刷</b> して提出すること。<br>※提出前に、内容に誤りがないか必ず確認すること。<br>※履歴欄の記載が枠内に収まらない場合、任意の様式に記載の上、入学志願票の後ろにホッチキスで留めて提出すること。  |
| ② 卒業(見込)証明書<br>又は学位授与(申請受理)証明書 | 出身大学の学長若しくは学部長又は最終出身校の学校長等が発行し、厳封したもの(本学出身者は不要)   |
| ③ 成 績 証 明 書                    | 看護師国家試験受験資格を取得した又は取得見込みの学校等の学長又は学部長等が発行し、厳封したもの(本学出身者は提出不要)<br>※編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学前の成績証明書も併せて提出すること。<br>※記録保存期間が過ぎている場合又は廃校等の理由で発行されない場合は、卒業した学校を運営していた地方公共団体や法人等に記録不存在である旨の証明書(様式自由)の発行を依頼し、成績証明書の代わりに提出すること。 |
| ④ 封筒貼付用宛名シート                   | 出願情報の登録及び入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、 <b>A4サイズでカラー印刷</b> すること。<br>市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に、剥がれないように確実に貼付すること。<br>※提出前に、内容に誤りがないか必ず確認すること。  |
| ⑤ 入 学 考 査 料                    | 30,000円<br>入学考査料の支払いは、インターネット出願サイトでの出願情報の登録後、行うことができる。<br>支払い方法は、6～9頁の「インターネット出願の流れ」を確認すること。<br>入学考査料の支払い後、(6)出願書類等の「①入学志願票」「④封筒貼付用宛名シート」のダウンロード・印刷が可能となるので、注意すること。<br>入学考査料の支払いにかかる手数料は、支払人(入学志願者)負担とする。               |

|   |   |
|---|---|
| <p>⑥ TOEIC 又は TOEFL スコア<br/>(一般選抜/社会人特別選抜出願者のみ)</p> | <p>本学の入学者選抜に係る出願期限から過去3年以内(令和4年8月29日以降)に受験した <b>TOEIC L&amp;R (公開テスト) 又は TOEFL (iBT)</b> の成績を証明する書類等を、下記のいずれかの方法で提出すること。</p> <p><b>【TOEIC L&amp;R (公開テスト) の場合】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC 申込サイトからスコアを提出する。(申請コード 00040701)</li> <li>・「Official Score Certificate (公式認定証)」の原本を提出する。</li> <li>・印刷したデジタル公式認定証を提出する。</li> </ul> <p><b>【TOEFL (iBT) の場合】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Test Taker Score Report (スコアレポート)」の原本を提出する。</li> </ul> <p>※TOEIC-IP、TOEFL-ITP 等の団体テストの成績は利用できない。</p> <p>※出願期間内にスコアの提出が間に合わない場合は、本学所定の様式 (TOEIC 又は TOEFL スコア「未提出理由書」(博士前期課程)) に必要事項を記載したものを出願時に提出し、その上で、令和7年9月17日(水)の13時までスコアを提出すること。</p> <p>※スコア提出後に、別のスコアを再提出したい場合は、事前に連絡の上、令和7年9月17日(水)の13時までスコアを提出すること。</p> <p>※TOEIC L&amp;R (公開テスト) 及び TOEFL (iBT) は、実施日及び実施会場が限られているため、出願時期までに余裕をもって受験しておくこと。</p> |
| <p>⑦ 志 望 理 由 書</p>                                  | <p>400 字程度にまとめ、提出すること (所定の様式)。</p>  |
| <p>⑧ 推 薦 状<br/>(社会人特別選抜出願者のみ)</p>                   | <p>医療機関等又は官公庁の代表者が記入したもの (所定の様式)</p>  |
| <p>⑨ 在 職 証 明 書<br/>(社会人特別選抜出願者のみ)</p>               | <p>医療機関等又は官公庁の代表者が証明したもの (所定の様式)</p>  |
| <p>⑩ そ の 他</p>                                      | <p>ア 出願資格(5)により出願を希望する者は、学位取得(見込)証明書を提出すること。</p> <p>イ 出願資格(9)により出願を希望する者は、学位授与証明書又は学位記の授与を申請していることの証明書等(様式は問わない:学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載があるもの)を提出すること。</p> <p>なお、出願時にまだ学位記の授与を申請していない場合は、申請予定である旨の証明書(在籍する学校が発行するもの)を提出すること。</p> <p>ウ 外国人の志願者は、上記出願書類のほか住民票(市区町村長発行の在留資格が記載されたもの(住民票が発行されない場合は旅券の写し))を提出すること。</p> <p>なお、出願書類には、この住民票記載の氏名を用いること。</p> <p>エ 出願手続後の書類の変更及び返還は行わない。</p> <p>オ いったん受理した入学考査料は次の場合を除き、返還しない。</p> <p>①入学考査料を払い込んだが出願しなかった場合(出願が受理されなかった場合を含む。)</p> <p>②入学考査料を二重に払い込んだ場合</p> <p>&lt;返還請求方法&gt;</p> <p>インターネット出願サイトから「入学志願票」をダウンロード・印刷し、入学考査料の返還請求書とともに本学へ郵送すること。請求書様式は本学ホームページで確認するか、本学へ問い合わせること。</p>  |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>カ 障害等により受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者は、下記期限内に本学へあらかじめ申し出ること。</p> <p>これにより、相談が必要となった場合は、以下による。</p> <p>○相談の期限<br/>令和7年8月12日(火)まで</p> <p>○相談の方法<br/>下記事項を記載した文書(様式は問わない。)及び医師の診断書を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者との面談等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望コース</li> <li>・障害の種類、程度</li> <li>・受験上の配慮を希望する事項</li> <li>・修学上の配慮を希望する事項</li> <li>・その他参考となる事項</li> </ul> <p>キ 連絡先<br/>富山県立大学富山キャンパス<br/>事務部教務学生課入試・学生募集グループ<br/>〒930-0975<br/>富山県富山市西長江2-2-78<br/>Tel 076-464-5410(代表)</p> |
|--|---|

- ※ ③、⑧の書類について、既に出願資格審査で提出されている場合は、出願手続で提出する必要はない。
- ※ 日本語・英語以外の言語で記載されたものについては、日本語訳もしくは英訳を添付すること。
- ※ 証明書の氏名が出願時と異なる場合(例:旧姓)は、戸籍抄本を出願書類とあわせて提出すること。

# インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



## STEP

1

### 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンタなどを用意してください。必ず富山県立大学のホームページから、出願を希望する入試区分の学生募集要項をダウンロード・印刷するなど、入試内容をよく確認し、必要書類の準備を早めに行ってください。

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…卒業(見込)証明書、成績証明書、志望理由書、推薦状、在職証明書など



(顔写真データ)

## STEP

2

### インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/pu-toyama/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.pu-toyama.ac.jp>

からアクセス



## STEP

3

### マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は「マイページ登録」からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って「仮登録メールを送信」をクリックしてください。

③ユーザー登録画面から「ログインページへ」をクリックしてください。

④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。  
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて「ログイン」をクリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して「次へ」をクリックしてください。



⑧個人情報を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。



⑨登録完了となります。  
マイページへ  
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら  
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。  
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので**ログアウト** ボタンをクリックしてください。

## STEP

# 4

## 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の  
**出願手続きを行う** ボタン  
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望専攻・志望コース等の選択



④顔写真のアップロード  
**写真選択へ** ボタンをクリックし  
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の  
入力



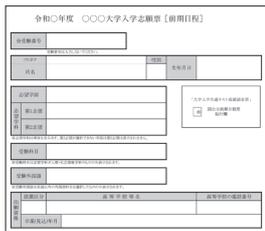
⑥出願内容の確認  
**志願票(サンプル)** ボタンを  
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了  
**引き続き支払う** ボタンを  
クリックし入学考査料のお支払い画面へ。



⑧入学考査料の支払い方法  
●コンビニエンスストア  
●ペイジー対応銀行ATM  
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF  
(イメージ)  
※入学考査料納入後に出力可能となります。

入学考査料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の  
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス  
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

### セブン-イレブンの場合

払込票番号  
メモ(13桁)

### ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号  
メモ(11桁)

確認番号  
メモ(6桁)

### デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済  
番号メモ(11桁)

収納機関番号  
(5桁) **5 8 0 2 1**

※収納機関番号は、ペイジーで  
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を  
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録情報の修正・変更ができませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、入学考査料支払い前であれば正しい出願  
情報を再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学考査料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。



# 入学考査料の支払い

※お支払いには期限がありますのでご注意ください。  
お支払い期限は学生募集要項等で必ずご確認ください。

## 1 クレジットカードでの支払い

出願情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

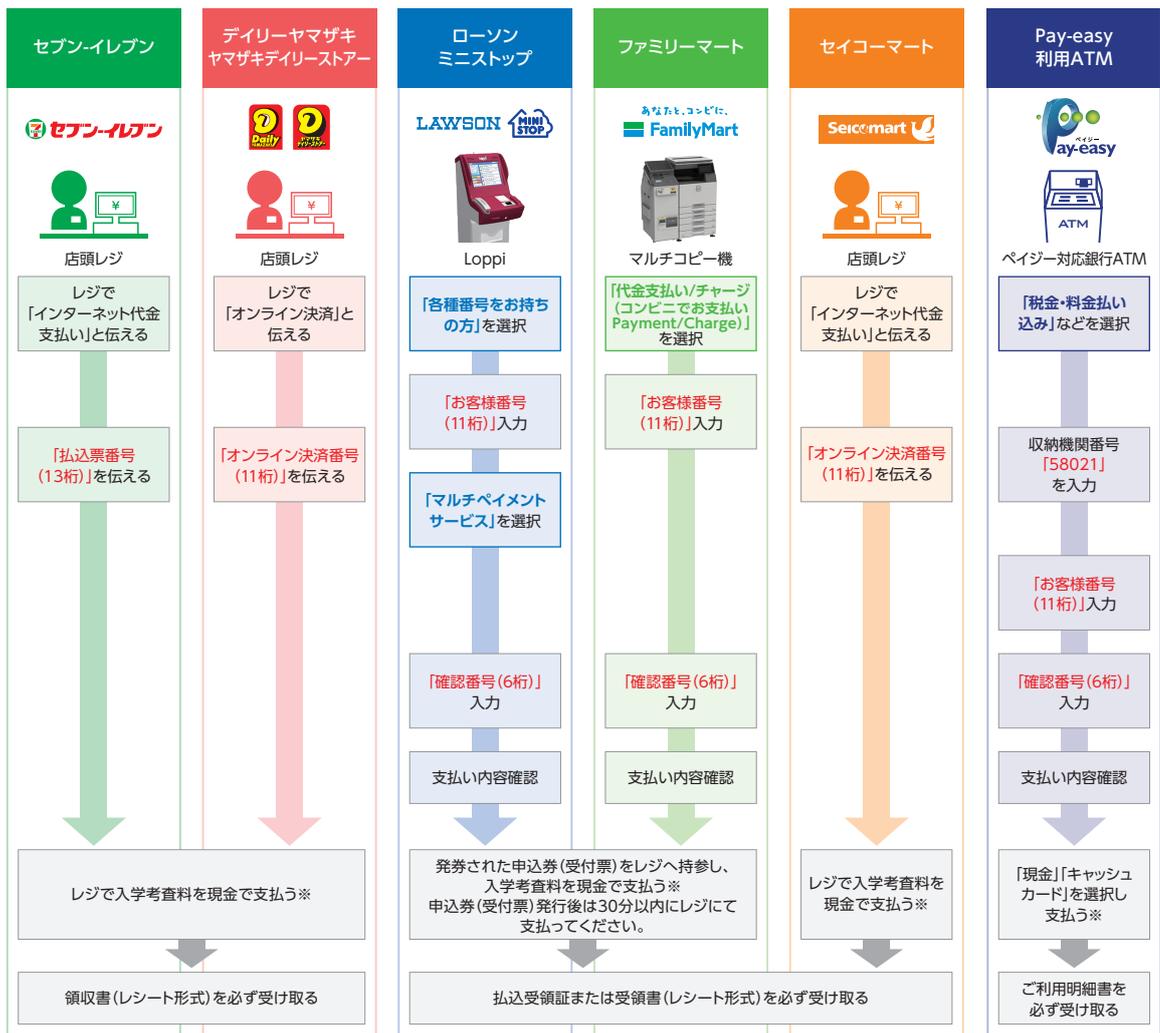
出願情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学考査料を支払ってください。  
入学考査料とは別に手数料が発生します。

### 3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

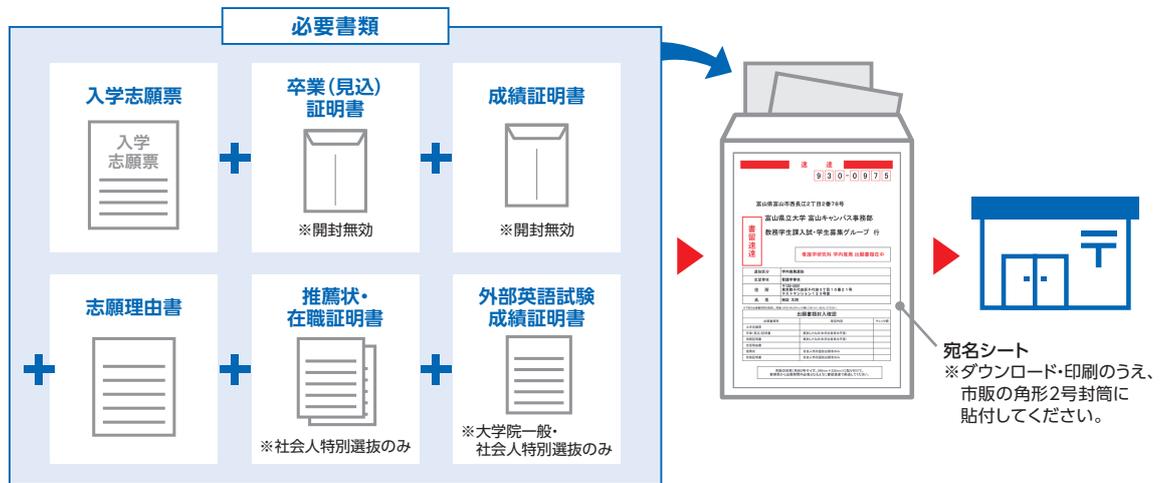
# STEP

# 6

## 必要書類の印刷・郵送

※登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願情報の登録、入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、ダウンロードできるようになった出願に必要な書類を印刷し、その他の必要書類と合わせて出願期間内に必着となるように郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。※出願締切日前日までの消印のある書留速達郵便に限り有効。



### 送付先

【富山キャンパス】  
〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号  
富山県立大学 事務部教務学生課入試・学生募集グループ 行

### ■出願書類

詳細は学生募集要項の「出願書類等」を確認してください。

※出願を一旦受理した入学考査料や必要書類は、学生募集要項で明記している理由によるものを除き、返還しません。

### 「入学志願票」の印刷方法



- マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになり入学志願票の出力ができます。

## <出願完了>

### 出願時の注意

出願はインターネット出願サイトでの登録、入学考査料の支払い後、必要書類を郵送して出願完了となります。提出期限までに必要書類が届かなければ出願を受理できませんのでご注意ください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願情報の登録・入学考査料の支払いは出願締切日の17時まで可能となっています。必要書類は出願締切日前日までの消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理します。ゆとりを持った出願を心がけてください。

# STEP

# 7

## 「受験票」・「受験上の注意」等の印刷

試験当日の約2週間前に、一斉に「受験票」や「受験上の注意」等を配信します。インターネット出願サイトに再びアクセスし、必ず印刷・確認して、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票等のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】「受験票」は必ずA4用紙に片面・カラー印刷してください。



### ■インターネット出願サイトの操作方法・入学考査料の支払い方法に関する問い合わせ先

株式会社 キャリタス 「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター  
TEL: 0120-202-079 受付時間: 平日10:00~17:00 (土日祝休・年末年始休み)

(7) 出願後、入学志願者がダウンロード・印刷するもの

| 出願書類等         | 摘要  |
|---------------|---|
| 受験票<br>受験上の注意 | <p>出願書類が受理された者には、出願期間終了後、一斉に「受験票」及び「受験上の注意」を配信する。インターネット出願サイトに再びアクセスし、必ずダウンロード・印刷、記載内容を確認して、試験当日持参すること。</p> <p>※大学からの郵送は行わない。</p> <p>※ダウンロード・印刷が可能となり次第、インターネット出願時に登録したアドレスへメールで通知する。</p> <p>※受験票は、必ずA4用紙に片面でカラー印刷すること。</p> |

#### 4 選抜方法・配点及び選抜試験日程

(1) 選抜方法

<一般選抜>

英語(※)、小論文及び面接試験の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。

<社会人特別選抜>

英語(※)、小論文及び面接試験の結果並びに成績証明書、推薦状の内容等を総合判断して行う。

<学内推薦選抜>

面接試験による選抜を行う。

(注) 学内推薦選抜を受験する場合は出願前に受験資格審査を受ける必要がある。詳細は別途知らせる。

(※) 英語は、出願書類で提出された TOEIC/TOEFL スコアをもとに換算した得点とする。

TOEIC L&R (公開テスト) の場合、スコアが 650 点以上で換算点=100 点とする。

TOEFL (iBT) の場合、スコアが 63 点以上で換算点=100 点とする。

(2) 配点

| 選抜区分            | 英語    | 小論文   | 面接    | 計     |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|
| 一般選抜<br>社会人特別選抜 | 100 点 | 100 点 | 150 点 | 350 点 |
| 学内推薦選抜          | —     | —     | 150 点 | 150 点 |

(3) 学力検査等の出題

小論文 …… 保健医療に関する内容を出題する。

面接試験 …… 面接は主に以下の項目に基づき実施する。

大学院志望動機並びに意欲

専門領域での臨床(実習)経験や研究(卒業研究、臨床での研究)内容

専門領域での学修計画

(4) 選抜日程

| 試験科目 | 試験期日・時間             |              |
|------|---------------------|--------------|
|      | 一般選抜/社会人特別選抜        | 学内推薦選抜       |
|      | 令和7年9月19日(金)        | 令和7年7月15日(火) |
| 小論文  | 9:30~10:30<br>(60分) | —            |
| 面接   | 10:50~              | 14:00~       |

(注1) 学力検査を一部でも受けなかった場合は「失格」とする。

(注2) 筆記試験については、試験開始後 20 分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。

(注3) 面接については、集合時刻(別途案内)を厳守すること。遅刻した場合は受験できないことがあるので注意すること。

## 5 選抜試験会場

富山県立大学富山キャンパス

〒930-0975

富山県富山市西長江2-2-78

TEL 076-464-5410 (代表)

※富山キャンパスには駐車場を用意していないため、当日は、公共交通機関等を利用すること。

## 6 合格者発表

|              |                        |
|--------------|------------------------|
| 一般選抜/社会人特別選抜 | 令和7年10月3日(金) 午前10時(予定) |
| 学内推薦選抜       | 令和7年8月1日(金) 午前10時(予定)  |

合格者の受験番号を本学ホームページに掲載するとともに、合格者本人宛に郵便で通知する。  
なお、合否についての電話その他の問い合わせには一切応じない。

## 7 入学手続

### (1) 入学手続方法

入学手続に要する書類等を取りまとめて、入学手続期間内に持参するか、『書留速達郵便』で郵送すること(封筒の表書きには「大学院看護学研究科(博士前期課程)入学手続書類在中」と朱書きすること。)

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

### (2) 入学手続期間

**令和7年10月21日(火)～23日(木)(期間内必着とする。)**

持参された書類の受付時間は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までとする。  
郵送の場合も、上記の手続最終日まで必着のこと。

### (3) 入学手続先

富山県立大学富山キャンパス

事務部教務学生課入試・学生募集グループ

〒930-0975

富山県富山市西長江2-2-78

TEL 076-464-5410 (代表)

### (4) 入学手続に要する書類等(提出された書類の返還は行わない。)

| 提出書類等        | 摘要   |
|--------------|--|
| ① 誓約書        | 保証人が必要(所定の様式)  |
| ② 入学料        | ア 金額 282,000円<br>(富山県の住民の場合 188,000円)<br>イ 納付方法<br>(ア) 本学指定の「入学金振込依頼書」を使用し、金融機関(ゆうちょ銀行、郵便局を除く。)の窓口で納付すること。<br>(イ) 納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、入学手続書類に同封すること。 |
| ③ 写真<br>(1枚) | 正面上半身無帽、背景なし、縦4cm×横3cm、入学手続日前6か月以内に単身で撮影したもの<br>裏面に氏名を記入すること。  |
| ④ 卒業証明書等     | 卒業見込みで受験した者のみ必要(本学出身者は提出不要)<br>「2 出願資格」の(9)により学士の学位を授与される見込みで受験した者及び(5)により学士の学位に相当する学位を授与される見込みで受験した者は、学士の学位又は学士の学位に相当する学位を授与されたことが確認できる書類もあわせて提出すること。                       |
| ⑤ 返信用切手      | 110円切手(切手の金額は今後変更する場合がある。)   |
| ⑥ その他        | 住民票等(富山県の住民のみ)   |

※ 入学料は令和7年4月現在

※ 日本語・英語以外の言語で記載されたものについては、日本語訳もしくは英訳を添付すること。

#### (5) 入学手続上の注意事項

- ① 『富山県の住民』とは、本人又はその者の配偶者若しくは1親等の親族が、令和7年4月1日から引き続き富山県内に住所を有する者及びこれに準ずると認められる者をいう。  
なお、『富山県の住民』の認定は、住民票等によって行う。
- ② 入学手続が全て終了した者には、入学許可書を交付する。
- ③ いったん納付された入学料は次の場合を除き、返還しない。  
ア 入学料を過払いした場合  
イ 入学料を二重に払い込んだ場合  
＜返還請求方法＞  
「振込受付証明書」を貼付した返還請求書を本学へ郵送すること。請求書様式は本学へ問い合わせること。  
送付先：富山県立大学富山キャンパス  
事務部教務学生課入試・学生募集グループ  
〒930-0975  
富山県富山市西長江2-2-78  
TEL 076-464-5410（代表）
- ④ その他、入学手続の詳細については、別途通知する。

## 8 入学料・授業料等

### (1) 入学料・授業料等

| 区 分           | 金 額                | 備 考                                |
|---------------|--------------------|------------------------------------|
| 入 学 料         | 282,000 円          |                                    |
| 富 山 県 の 住 民   | 188,000 円          |                                    |
| 授 業 料         | 535,800 円<br>(年 額) | 初年度の前期分は銀行振込、後期分・次年度からは口座引き落としになる。 |
| 学生教育研究災害傷害保険料 | 2,790 円            | 2か年分                               |
| 後 援 会 費       | 10,000 円           | 2か年分                               |
| 同 窓 会 費       | 10,000 円           | 入会時のみ（既に入会されている者は不要）               |

※ 金額は、いずれも令和7年4月現在。年度によって変わることがある。  
在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。

### (2) 奨学金・授業料減免制度

日本学生支援機構及び各種奨学金制度がある。

また、学業成績が優秀で、経済的理由により、授業料の納入が困難であると認められる者等については、授業料の全部又は一部を免除する制度がある。

## 9 注意事項

他の受験生への感染拡大を防止するため、下記に該当する者は受験できない。

学校保健安全法施行規則において出席停止が定められている感染症に罹患し、入学試験当日まで治癒していない者又は出席停止期間を終了していない者（病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められたときはこの限りではない。）

## 10 その他

- (1) インターネット出願サイトでの出願情報の登録及び入学考査料の支払いだけでは出願手続は完了しないため必ず出願に必要な書類を出願期間内に本学に必着となるよう郵送すること。
- (2) 出願書類等の受理後は、志望専攻など出願事項の変更を認めない。ただし、インターネット出願サイトで登録した「入学志願票」の「連絡先」については、出願書類等に関する照会、合格通知、その他緊急の連絡の際に必要なため、変更が生じた場合は、至急<問い合わせ先>へ届け出ること。
- (3) 提出する書類は黒インク又は黒のボールペンを用い、文字は楷書で、数字は算用数字で記入すること。
- (4) 様式の※印欄は何も記入しないこと。
- (5) 提出された書類の変更及び返還並びに納入された納付金の返還は行わない。

- (6) 入学許可を受けた者が、大学を卒業できなかった場合、外国において学校教育における16年の課程を修了できなかった場合、学士の学位取得見込み者が学位授与機構より学士の学位を授与されなかった場合及び外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(4)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)できなかったことにより、学士の学位に相当する学位を授与されなかった場合は、入学を取り消す。
- (7) 入学許可後であっても、出願手続又は受験に不正があったと認められたときは、入学を取り消すことがある。
- (8) 志願者から提出された出願書類に記載されている氏名、住所等の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)」及び「公立大学法人富山県立大学における個人情報の保護に関する規程」に基づき、適正に処理する。法律等の規定に基づくなどの例外を除き、原則として、第三者に提供することはない。
- なお、個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等に関する調査、研究、分析、⑤及びこれらに付随する業務を行うために利用する。また、上記①～⑤の業務での利用においては、一部の業務を外部委託することがある。この場合、受託者に個人情報の保護を義務付ける。

<問い合わせ先>

富山県立大学富山キャンパス  
事務部教務学生課入試・学生募集グループ  
〒930-0975  
富山県富山市西長江2-2-78  
TEL 076-464-5410 (代表)

# 看護学研究科(博士前期課程)案内

## 富山県立大学大学院看護学研究科（博士前期課程）案内

### I 看護学研究科の概要等

#### 1 看護学研究科の目的

広い視野に立って、看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深める教育研究を行い、看護学の実践、様々な形態での看護の実践及び地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的とする。

#### 2 各コースの概要

##### ① 研究コース

看護職者として質の高い医療・看護をより効率的に提供していくために、深化した看護専門知識を持ち、多職種・多機関との連携・協働においてリーダーシップを発揮できる能力、かつ広い視野を持って看護を探究する能力を兼ね備えた、より高度な看護人材を育成する。研究分野は、次の5分野から選択する。

#### <研究分野>

|         |  |
|---------|--|
| 基礎看護学   | 専門職としての質を高めるために重要となる看護継続教育のプログラムや運用の実際について理解を深める。その上で、エビデンスに基づく看護実践や、看護倫理を基盤とした対象者の尊厳を守り、かつ自律を支援するための看護実践の課題と研究方法を学修し、自らの研究課題に取り組む基礎的な能力を培う。                   |
| 成人看護学   | 健康障害を持ちながら生活する成人期の人々の健康課題に対応した質の高い看護援助に活用できる概念や理論を学修する。患者やその家族に対する看護を根拠に基づいた臨床判断、意思決定、看護介入、評価等の観点から探究する。   |
| 老年精神看護学 | 老年精神看護学の基盤となる概念、理論及び重要な実践モデルを最新の知見に基づき学修する。地域で生活する高齢者や精神障がい者及びその家族の健康課題と支援の実践例を通して、理論・モデルの実践への応用について理解を深め、演習によって、課題解決に向けた研究に応用できる基礎的能力を培う。                     |
| 母子看護学   | 女性のライフサイクル全般及び周産期における母子とその家族の健康課題・子どもの成長発達に応じた子どもとその家族の健康課題を理解し、エビデンスに基づいた支援のあり方を探究する。   |
| 地域在宅看護学 | 地域を基盤にして行われる公衆衛生看護、在宅看護の対象者・家族及び人々の健康状態とその背景であるコミュニティをより専門的に理解し、実践の理論的根拠を学修する。課題解決に向けた地域における看護の多様なアプローチについて理解を深め、各専門職とのディスカッションやフィールドワークを通して、理論と実践を融合できる能力を培う。 |

##### ② 専門看護師コース（老年看護専攻教育課程）

医療・介護ニーズの高い75歳以上人口の増加が続く富山県の現状を踏まえ、老年看護学分野の専門看護師を育成する。老年看護分野の専門性を発揮しながら、卓越したケアを提供するとともに、総合的な判断力と広い視野を持って、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の6つの役割を果たし、施設全体や地域の看護の質の向上に努めることができる能力を培う。

## II 社会人に対する配慮

### (1) 教育方法の特例

夜間・休日等に授業や研究指導を行い、さらに夏季休暇等の長期休暇期間を利用した集中講義を併せて行うほか、個々の事情に配慮した指導時間を設定するなど、社会人学生の履修に配慮する。詳細は、富山県立大学富山キャンパス事務部教務学生課まで問い合わせること。

Tel 076-464-5410 (内線 131)

### (2) 長期履修制度

定職を有する等、2年の修業年限内での修了が困難であることが見込まれる場合、修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間内で計画的な履修をすることができる。(授業料は2年で修了する場合と同額)

## III 修了の要件

本研究科の修了要件は、研究コースの学生は、2年以上在学し、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格すること。

また、専門看護師コースの学生は、2年以上在学し、46単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、特定課題研究論文を提出して、その審査及び最終試験に合格すること。

#### IV 教育課程表

| 科目区分           | 授業科目             | 配当年次         | 学期 | 研究コース |     | 専門看護師コース |    | 備考  |    |
|----------------|------------------|--------------|----|-------|-----|----------|----|---|----|
|                |                  |              |    | 単位数   |     | 単位数      |    |   |    |
|                |                  |              |    | 必修    | 選択  | 必修       | 選択 |   |    |
| 共通科目           | 看護学研究特論          | 1            | 前  | 2     |     | 2        |    | 専門看護師コースは、「看護教育特論」、「看護管理特論」、「コンサルテーション特論」のうち2科目(4単位)を選択必修   |    |
|                | 看護倫理特論           | 1            | 前  | 2     |     | 2        |    |   |    |
|                | 看護教育特論           | 1            | 後  |       | 2   | (2)      | 2  |   |    |
|                | 看護管理特論           | 1            | 後  |       | 2   | (2)      | 2  |   |    |
|                | コンサルテーション特論      | 1            | 後  |       | 2   | (2)      | 2  |   |    |
|                | 看護統計特論           | 1            | 前  |       | 2   |          | 2  |   |    |
|                | 看護ケア科学特論         | 1            | 前  |       | 2   |          | 2  |   |    |
|                | 国際看護特論           | 1            | 後  |       | 2   |          | 2  |   |    |
|                | ケアコミュニケーション特論    | 1            | 前  |       |     | 2        | 2  |   |    |
|                | 富山県の医療保健福祉特論     | 1            | 前  |       |     | 2        | 2  |   |    |
|                | 臨床薬理学特論          | 1            | 後  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | フィジカルアセスメント特論    | 1            | 後  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | 病態生理学特論          | 1            | 前  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | 小計(13科目)         |              |    |       | 8   | 12       | 16 |   | 14 |
| 看護専門科目         | 基礎看護学            | 基礎看護学特論      | 1  | 前     | (2) | 2        |    | 研究コースは、「基礎看護学」、「成人看護学」、「老年精神看護学」、「母子看護学」、「地域在宅看護学」の5つの分野の中から1つを選択し、その中で、特論2単位、演習Ⅰ2単位及び演習Ⅱ2単位の合わせて6単位の修得が必修となる。<br><br>選択した分野以外は特論のみ履修でき修了要件の単位として算入できる。 |    |
|                |                  | 基礎看護学特論演習Ⅰ   | 1  | 後     | (2) | 2        |    |   |    |
|                |                  | 基礎看護学特論演習Ⅱ   | 2  | 前     | (2) | 2        |    |   |    |
|                | 成人看護学            | 成人看護学特論      | 1  | 前     | (2) | 2        |    |   | 2  |
|                |                  | 成人看護学特論演習Ⅰ   | 1  | 後     | (2) | 2        |    |   |    |
|                |                  | 成人看護学特論演習Ⅱ   | 2  | 前     | (2) | 2        |    |   |    |
|                | 老年精神看護学          | 老年精神看護学特論    | 1  | 前     | (2) | 2        |    |   | 2  |
|                |                  | 老年精神看護学特論演習Ⅰ | 1  | 後     | (2) | 2        |    |   |    |
|                |                  | 老年精神看護学特論演習Ⅱ | 2  | 前     | (2) | 2        |    |   |    |
|                | 母子看護学            | 母子看護学特論      | 1  | 前     | (2) | 2        |    |   | 2  |
|                |                  | 母子看護学特論演習Ⅰ   | 1  | 後     | (2) | 2        |    |   |    |
|                |                  | 母子看護学特論演習Ⅱ   | 2  | 前     | (2) | 2        |    |   |    |
|                | 地域在宅看護学          | 地域在宅看護学特論    | 1  | 前     | (2) | 2        |    |   | 2  |
|                |                  | 地域在宅看護学特論演習Ⅰ | 1  | 後     | (2) | 2        |    |   |    |
|                |                  | 地域在宅看護学特論演習Ⅱ | 2  | 前     | (2) | 2        |    |   |    |
| 小計(15科目)       |                  |              |    | 6     | 30  | 0        | 10 |   |    |
| 高度実践看護科目(老年看護) | 老年看護学原論          | 1            | 前  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | 高齢者アセスメント論       | 1            | 前  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | 老年医学特論           | 1            | 前  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | 高齢者高度看護実践論       | 1            | 前  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | 高齢者ケアシステム論       | 1            | 前  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | 高度実践老年看護学演習Ⅰ     | 1            | 後  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | 高度実践老年看護学演習Ⅱ     | 1            | 後  |       |     | 2        |    |   |    |
|                | 高度実践老年看護学実習Ⅰ     | 1            | 後  |       |     | 1        |    |   |    |
|                | 高度実践老年看護学実習Ⅱ     | 2            | 前  |       |     | 6        |    |   |    |
|                | 高度実践老年看護学実習Ⅲ     | 2            | 前  |       |     | 3        |    |   |    |
| 小計(10科目)       |                  |              |    | 0     | 0   | 24       | 0  |   |    |
| 研究科目           | 看護学特別研究(研究コース)   | 2            | 通年 | 10    |     |          |    |   |    |
|                | 特定課題研究(専門看護師コース) | 2            | 通年 |       |     | 6        |    |   |    |
|                | 小計(2科目)          |              |    |       | 10  |          | 6  |   |    |
| 合計(40科目)       |                  |              |    | 24    | 42  | 46       | 24 |   |    |

## V 指導教員・研究指導内容一覧

### < 研究コース >

| 研究分野    | 職<br>教員名<br>連絡先            | 研究指導内容  |
|---------|----------------------------|---|
| 基礎看護学   | 教授<br>岡本 恵里<br>eri.okamoto | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護基礎教育・看護継続教育方法と評価に関する研究</li> <li>・看護実践・臨床判断に関する研究</li> <li>・看護職のキャリア形成支援に関する研究</li> <li>・看護職のストレス・倫理的葛藤に関する研究</li> </ul>                           |
|         | 教授<br>林 静子<br>haya-shizu   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師の臨床判断能力の育成に関する研究</li> <li>・人の視覚情報処理が日常生活行動に与える認知的影響に関する研究</li> <li>・看護技術教育に関する研究</li> <li>・ICTを活用した教育プログラムの開発に関する研究</li> </ul>                   |
|         | 准教授<br>浦井 珠恵<br>uraitamae  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡の予防ケア・皮膚創傷ケアに関する研究</li> <li>・褥瘡発生要因となるずれ力測定機器の開発に関する研究</li> <li>・看護ケア技術のエビデンス探索に関する研究</li> </ul>  |
| 成人看護学   | 教授<br>片田 裕子<br>kyuko2      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性疾患看護に関する研究</li> <li>・成人のメンタルヘルスに関する研究</li> <li>・成人看護教育に関する研究</li> </ul>   |
|         | 教授<br>比嘉 肖江<br>nhiga       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・喪失と悲嘆に関する研究</li> <li>・エンド・オブ・ライフケアに関する研究</li> <li>・スピリチュアルヘルスに関する研究</li> </ul>  |
| 老年精神看護学 | 教授<br>張 平平<br>p-zhangp     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高齢者のヘルスプロモーションに関する研究</li> <li>・認知症を有する高齢者への看護に関する研究</li> <li>・在宅療養高齢者の介護家族への支援に関する研究</li> <li>・老年看護学教育に関する研究</li> <li>・国際看護・文化看護に関する研究</li> </ul> |
|         | 教授<br>木谷 尚美<br>n-kidani    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者の意思決定支援に関する研究</li> <li>・高齢者の発達課題に関する研究</li> <li>・看護と介護の連携・協働に関する研究</li> </ul>   |

| 研究分野    | 職<br>教員名<br>連絡先             | 研究指導内容  |
|---------|-----------------------------|---|
| 老年精神看護学 | 准教授<br>伊藤 裕佳<br>y-mdaira    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期ケア施設で療養生活を送る高齢者への療養支援に関する研究</li> <li>・長期ケア施設で高齢者ケアに関わる看護職・介護職へのキャリア支援に関する研究</li> <li>・長期ケア施設における多職種連携に関する研究</li> </ul>                |
|         | 講師<br>川口 寛介<br>k. kawaguchi | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢がん患者への看護およびその人らしい生活を支える支援に関する研究</li> <li>・前立腺がん患者に関する研究</li> <li>・排泄ケアに関する研究</li> </ul>   |
| 母子看護学   | 教授<br>松井 弘美<br>mhiromi4213  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期にある女性とその家族への支援に関する研究</li> <li>・助産基礎教育に関する研究</li> <li>・助産現任教育に関する研究</li> <li>・小児の成長・発達に関する研究</li> </ul>                               |
|         | 准教授<br>小林 絵里子<br>ekobayashi | <ul style="list-style-type: none"> <li>・母乳育児支援に関する研究</li> <li>・シミュレーション教育に関する研究</li> <li>・周産期領域における現任教育や卒後教育に関する研究</li> <li>・NICU 看護に関する研究</li> <li>・慢性疾患を持つ小児に関する研究</li> </ul> |
|         | 准教授<br>村田 美代子<br>m-murata   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期にある母親と家族における産後のケアに関する研究</li> <li>・乳児の泣きに関連した子育て支援に関する研究</li> <li>・母子の災害支援に関する研究</li> </ul>   |
|         | 准教授<br>寺井 孝弘<br>tera-ta     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども虐待予防に関する研究</li> <li>・育児困難に陥る親の特徴に関する研究</li> <li>・小児看護学全般の研究</li> </ul>   |
| 地域在宅看護学 | 教授<br>越田 美穂子<br>koshida     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生看護学に関する研究</li> <li>・地域における予防・保健活動の評価に関する研究</li> <li>・公衆衛生看護に関わる人材育成に関する研究</li> </ul>  |

| 研究分野    | 職<br>教員名<br>連絡先          | 研究指導内容   |
|---------|--------------------------|--|
| 地域在宅看護学 | 教授<br>清水 暢子<br>n-shimizu | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域高齢者の健康維持、予防的アプローチに関する研究</li> <li>・ 障害のある方への生活支援や社会参加を促進するための介入研究、実験的研究</li> <li>・ 地域における精神保健福祉の充実を目指した研究</li> </ul> |

※利用の際には記載の連絡先アカウントの後に、「@pu-toyama.ac.jp」を追加すること。

例) k-toyama → [k-toyama@pu-toyama.ac.jp](mailto:k-toyama@pu-toyama.ac.jp)

< 専門看護師コース >

| 研究分野  | 職<br>教員名<br>連絡先            | 研究指導内容  |
|-------|----------------------------|---|
| 老年看護学 | 教授<br>張 平平<br>p-zhangp     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症高齢者とその家族への看護支援に関する研究</li> <li>・ 退院支援における看護師の役割に関する研究</li> <li>・ エンド・オブ・ライフケアに関する研究</li> <li>・ 老年看護学教育に関する研究</li> <li>・ 国際看護・文化看護に関する研究</li> </ul> |
|       | 教授<br>木谷 尚美<br>n-kidani    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症高齢者の意思決定支援に関する研究</li> <li>・ 高齢者の発達課題に関する研究</li> <li>・ 看護と介護の連携・協働に関する研究</li> </ul>  |
|       | 准教授<br>伊藤 裕佳<br>y-mdaira   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期ケア施設で療養生活を送る高齢者への療養支援に関する研究</li> <li>・ 長期ケア施設で高齢者ケアに関わる看護職・介護職へのキャリア支援に関する研究</li> <li>・ 長期ケア施設における多職種連携に関する研究</li> </ul>                           |
|       | 講師<br>川口 寛介<br>k.kawaguchi | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢がん患者への看護およびその人らしい生活を支える支援に関する研究</li> <li>・ 前立腺がん患者に関する研究</li> <li>・ 排泄ケアに関する研究</li> </ul>  |

※利用の際には記載の連絡先アカウントの後に、「@pu-toyama.ac.jp」を追加すること。

例) k-toyama → [k-toyama@pu-toyama.ac.jp](mailto:k-toyama@pu-toyama.ac.jp)

◇不測の事態等が発生した場合の諸連絡

不測の事態等の発生により、本募集要項の内容を変更する場合は、本学ホームページ等により周知しますので、出願前や受験前には特に注意願います。

本学ホームページ URL <https://www.pu-toyama.ac.jp/>

出願・受験・その他に関する問い合わせ先

〒930-0975 富山県富山市西長江 2-2-78

富山県立大学富山キャンパス

事務部教務学生課入試・学生募集グループ

TEL 076-464-5410 (代表) FAX 076-422-6070